

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 2 4 号
件 名	安全安心な公共交通の実現のためBRT専用走行路とさらなる連節バスの購入は承認しないことを求めることについて
要 旨	<p>市はまちなか活性化対策として、連節バスとともにBRT交通システムを導入しましたが、出かけやすくなったと市民から喜ばれる結果に至っていません。</p> <p>2015年9月5日、1日で大きく変わったバスシステムに市民は戸惑い、それはまだ続いています。</p> <p>駅前のバス乗り場では係員に行き先のバスを尋ねる人と、とまるバス停を尋ねる人は多く、私も確かめる回数がふえました。</p> <p>連節バスは車内の移動が長く、ステップの高い座席が多いなど高齢者、障がいのある人には向きません。</p> <p>乗りかえを強いるのであればバスを全車低床にしてください。</p> <p>専用走行路になると交通弱者はバスを利用できなくなります。</p> <p>以上の理由で、連節バスのさらなる購入と専用走行路の計画は承認しないことを求めます。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 29 年 3 月 7 日 環境建設常任委員会
受 理	平成 29 年 2 月 27 日 第 7 1 0 号